

令和 7 年度 平野区区政会議（8 月）全体会 会議録

1 開催日時

令和 7 年 8 月 2 6 日（火） 1 9 時 0 1 分～2 1 時 0 0 分

2 開催場所

コミュニティプラザ平野（平野区民センター）大ホール

3 出席者

（区政会議委員） 2 4 名

東委員、石塚委員、石本委員、伊東委員、大久保委員、應矢委員、菊地委員、
黒田委員、斉藤委員、篠原委員、高上委員、立石委員、田部井委員、戸川委員、
農野委員、濱田委員、速水委員、福島委員、福本委員、松野委員、南委員、
明浄委員、四辻委員、和田委員

（平野区選出市会議員） 2 名

永井議員、吉見議員

（平野区役所職員） 2 2 名

東中区長、安井副区長、立本安全安心まちづくり課長、
京極まちづくり推進担当課長、塩野企画調整担当課長、
松本総務課長、木村安全安心まちづくり課長代理、
植山防災企画担当課長代理、森本まちづくり推進担当課長代理、
西田保健福祉課長、小林地域保健担当課長、中西生活支援課長、
澤井保健福祉課長代理、小山保健福祉課長代理、川島保健副主幹、
齊藤保健副主幹、丸山子育て支援担当課長、
中井政策推進課長兼教育担当課長、星野政策推進課長代理、

尾崎こども家庭担当課長代理、上窪こども見守り担当課長代理、
松元総務課担当係長

4 議題

(1) 「平野区将来ビジョン2026—2029（素案）について」

5 会議内容

○司会（高塩政策推進課担当係長）

皆さん、こんばんは。

それでは、ただいまより令和7年度平野区区政会議8月全体会を開催いたします。

本日は、ご多忙の中ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

私は司会を務めさせていただきます、平野区役所政策推進課の高塩でございます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、開会に当たりまして、区長からご挨拶申し上げます。

○東中区長

改めまして、皆様、こんばんは。

暑い中、お忙しい中、多数お越しをいただきましてありがとうございます。また、本日は傍聴の方もお越しになっておられますし、またオブザーバーとして、議員の先生のお二方にもお越しいただいております。誠にありがとうございます。

日頃より、平野区政、大阪市政、皆様方のお心とお力を寄せていただいておりますことに心から感謝を申し上げます。

また、農野議長様をはじめ各委員皆様方、重ね重ね本当にありがとうございます。

本日は、向こう4年間の当区、皆様方、私どもの平野の新たなビジョン、この素案というものにつきまして、皆様方のご意見を賜りたいというふうに思いまして、本日

の開催の運び、そのようになってございます。

やはり地域行政といいますのは、皆様方の生活にしっかりと密着した行政でございます。ですから、一見目立たないようなこと、地味なことということもございます。しかし、それが皆様方の生活やお仕事、人生をご支援させていただく一番大事な部分であるというふうに存じております。

したがいまして、やはり地域行政は継続性や連続性といったことがどうしても大切な観点になってまいります。ひょっとしたら地味な部分もあるかもしれませんが、その背景に皆様方と日頃からお話をさせていただいている、いろいろなお気持ち、情報を、私どもとしてはできるだけ詰め込ませていただいたつもりでございます。

どうか皆様方、ご忌憚のないご意見を賜りまして、そしてもって皆様方の、私どもの平野区が一層住みよいところにつながりますような、そうしたビジョンの完成、そうした運びにつながりますと大変ありがたく、またうれしく存じるところでございます。何とぞ今日はよろしく願いを申しあげます。本当にありがとうございます。

○司会（高塩政策推進課担当係長）

続きまして、本日ご出席の皆様と関係者の紹介でございますが、お配りしております【資料3】A3両面の平野区区政会議委員及び関係者名簿をご覧ください。

表面が名簿、裏面が座席表となっております。委員の皆様及び区役所職員の紹介につきましては、大変恐縮ですが、こちらの名簿をもちまして紹介とさせていただきます。

続きまして、本日、オブザーバーとしてご出席いただいている市会議員の皆様をご紹介させていただきます。

永井広幸議員でございます。

○永井議員

ありがとうございます。お世話になります。

○司会（高塩政策推進課担当係長）

吉見みさこ議員でございます。

○吉見議員

こんばんは。いつもお世話になっております。ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

○司会（高塩政策推進課担当係長）

続きまして、傍聴者などのご報告をさせていただきます。

本日の傍聴につきましては、2名でございます。

それでは次に、本日使用する資料の確認をさせていただきます。

資料右上に番号をつけております。事前に送付した資料として、【資料1】、【資料2】、当日の配付資料として、【資料3】、【資料4】、【資料5】となっております。

資料の不足や事前送付資料を本日持参されていない方は、お手数ですが、挙手にてお近くの事務局職員までお声がけいただきますようお願いいたします。

それでは、ここで本日のタイムスケジュールについて、簡単にご説明させていただきます。

まず、次第のとおり、区役所から今回の議題であります、「平野区将来ビジョン2026－2029（素案）」について、約15分程度でご説明させていただきます。

次に、各グループに分かれて意見交換を行っていただきます。小グループは、移動、休憩も含めて70分程度を予定しております。

その後、再び今のお席に戻っていただき、全体会を再開いたします。この場では、

各グループで出されたご意見の報告などをしていただきます。

終了は２１時を予定しておりますので、円滑な進行にご協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは、ここから農野議長に議事進行をお願いします。

最初に、会議の成立及び会議の公開についてご確認をお願いいたします。

現在の出席委員数は２３名です。

○農野議長

ありがとうございます。平野区さんの区政会議は、委員定数の過半数の出席をもって会議が有効となるところでございます。本日は委員３１名中、２３名のご参加をいただいておりますので、本会議は有効であることをご報告申し上げます。

また、会議の公開についても、本日２名の傍聴の方々に来ていただいております。どうぞよろしくお願いいたします。

この会議は録音、録画され、後日、会議の様子や会議録がホームページ等で公開されることになります。

また、限られた時間の中、多数の委員の皆様にご出席いただいておりますので、皆様方、会議の円滑な進行にご協力くださいますようお願い申し上げます。

それでは続きまして、本日の議題となります、「平野区将来ビジョン２０２６－２０２９（素案）」についてのご説明をいただきたいと思います。こちらについては、区役所さんからご説明をお願いいたします。

その後、また各グループに分かれてご意見をいただくような形になりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、事務局さん、ご説明をお願いします。

○中井政策推進課長

平野区役所政策推進課の中井でございます。いつも大変お世話になっており、誠にありがとうございます。失礼ながら着座にて説明させていただきます。

資料につきましては、右上に【資料2】と書いております、「平野区将来ビジョン2026－2029（素案）」、こちらを基に説明させていただきますので、よろしくをお願いいたします。ページの下のほうにページ番号をつけております。

なお、本日は時間の関係上、めざすべき平野区の将来像及び将来像の実現に向けた対応策や成果指標を中心にご説明させていただきますので、よろしくをお願いいたします。

それでは早速ですが、2ページをご覧くださいませでしょうか。平野区将来ビジョンとは、ということで、平野区将来ビジョンは、令和8年度から11年度までのおおむね4年間を見据え、区政を運営していく上で、区のめざす将来像やその実現に向けた施策の方向性を取りまとめ、区民の皆さんと一緒に進める区政の指針となるものがございます。

続きまして、3ページをご覧くださいませでしょうか。平野区の概況をまとめさせていただきますいております。主だったものとしまして、平野区の所在位置や交通環境、5つの圏域、今後の人口状況、教育環境でございますとか、ページが変わって4ページには、平野区の地名の由来などを記載させていただいております。

続きまして、5ページをご覧くださいませでしょうか。平野区のめざす将来像を「笑顔あふれる、つながりと活気のまち」といたしまして、行政と区民の皆様との協働や、地域の皆様同士の連携やつながりづくりを促進することで、活気あるまちづくりを進め、平野区全体に笑顔があふれるまちをめざしてまいりたいと考えております。

この将来像の実現に向けた施策の方向性としまして、3つの柱で施策を推進してまいりたいと考えております。1つ目の柱は「安全安心のまち」、2つ目は「みんなで支えあう福祉と健康のまち」、3つ目が「こどもが元気で育つまち」とさせていただいております。

続きまして、6ページをご覧くださいでしょうか。3つの柱を基に施策を展開してまいります。まず、「安全安心のまち」におきましては、地域防犯力の向上、地域コミュニティの活性化、魅力あるまちづくりの推進といった施策に取り組んでまいります。次に、「みんなで支えあう福祉と健康のまち」におきましては、地域福祉の推進と健康づくりの推進に努めてまいります。最後3つ目、「こどもが元気で育つまち」におきましては、子育て支援の充実と教育支援の充実を図ってまいります。

続きまして、7ページをご覧くださいでしょうか。ここからは、今申しあげました各施策の内容について記載させていただいております。

まず、1つ目の柱であります「安全安心のまち」にかかる施策、地域防災力の向上でございます。まず、左上の現状のところに記載している主な内容ですが、令和6年に能登半島地震が発生するなど、大規模な地震が頻発しており、近い将来、南海トラフ地震のような巨大地震が発生する可能性が80%程度と言われております。阪神・淡路大震災では、自助と共助によって救われた方が大多数であったことから、公的機関の到着までの間、自らの命を自らで守り、住民同士で助け合うことが重要でございます。このため、地域のリスクを考慮した防災啓発活動や、地域防災リーダーの育成、連携した防災訓練の実施支援などを行ってまいりました。

次にその下、課題の欄のところでございます。災害発生時における「自助・共助」のさらなる推進や、住民同士が助け合いながら防災活動を行えるよう、地域のつながりを基盤とした防災力の強化、特に自力で避難が困難な高齢者や障害のある方々を支援するために、個別避難計画の作成が求められているところでございます。

次に、8ページをご覧ください。右上の欄、これらの課題を解決するための対応策としまして、まず1つ目が自主防災組織による活動の支援、2つ目が防災意識の向上を挙げさせていただいております。

その下ですが、この施策にかかる成果指標につきまして、防災情報や防災訓練などの取組を通じて、防災意識が高まったと感じる割合を令和11年度末までに85%以

上とすることをめざしてまいります。

続きまして、9ページをご覧くださいでしょうか。地域防犯力の向上でございます。現状といたしましては、犯罪等の発生件数は、地域と警察との協働により近年減少しております。特にひったくりと路上強盗は、過去4年間でわずか1件ずつとなっておりますが、特殊詐欺の被害金額は増加傾向でございます。

また、防犯の取組としまして、青色回転灯付防犯パトロール車両や防犯サポーターの配置、日常的なパトロール、防犯カメラの設置、また高齢者世帯には特殊詐欺防止機器の無償貸与などを行っております。

その下の課題の欄でございますが、高齢者を狙った特殊詐欺被害、スマートフォンの普及による新たな詐欺や闇バイトなどの犯罪が発生しております。

多様化する犯罪への対応に向けまして、地域コミュニティを強化し、顔の見える関係を築くことが重要であり、地域住民が中心となり、各関係機関と共に犯罪等の防止に努める必要がございます。

次に、10ページをご覧くださいでしょうか。対応策といたしまして、まず防犯意識の普及啓発、次に特殊詐欺被害防止の取組、最後に防犯パトロールの強化を挙げております。

成果指標につきましては、防犯パトロールや特殊詐欺被害防止啓発などの取組が、防犯に効果があると思う区民の割合を令和11年度末までに80%以上とすることをめざしてまいります。

次に、11ページをご覧ください。地域コミュニティの活性化でございます。現状といたしまして、地域活動協議会が立ち上がり、様々な形で活動が展開されており、区役所におきましては、平野区まちづくりセンターと連携して、会議運営や広報活動等の支援を行ってきたところでございます。

その下、課題といたしましては、住民が地域活動に参加して交流することやマンションとの連携も難しい場合が多く、町会加入率の低下もあり、地域活動協議会の活性

化につながっていないことや、地域活動の担い手の確保が難しくなっております。

次に、１２ページをご覧ください。対応策としまして、まず財政的支援とマルチパートナーシップの推進、次に町会等の加入促進と広報活動支援、最後に自主運営できる機会の創出を挙げさせていただいております。

成果指標につきましては、一緒に活動してくれる現役世代が増えたと感じる割合を令和１１年度末までに５０％以上とすることをめざしてまいります。

次に、１３ページをご覧ください。

魅力あるまちづくりの推進でございます。現状といたしまして、区内に未利用地が４０か所、約１６ヘクタールございます。特に長吉地域東部は未利用地が集中していることもあり、長吉ウェルカムタウン計画を策定し検討を進めてまいりました。

課題といたしましては、まだ多くある未利用地の有効活用となります。

１４ページをご覧ください。対応策といたしまして、区政会議などで意見聴取を行い、区民ニーズなどを踏まえた上で未利用地の有効活用を行い、まちづくりを推進してまいります。

成果指標につきましては、区内未利用におけるまちづくりの件数につきまして、令和１１年度末までに１０件以上をめざしてまいります。

次に、１５ページをご覧ください。ここからは、柱の２つ目「みんなで支えあう福祉と健康のまち」にかかる施策になります。

まず、地域福祉の推進でございます。現状といたしまして、近年、つながりが希薄化になっている地域社会において、平野区は４人に１人が６５歳以上の高齢者となっております。また、在宅認知症高齢者の数や、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳の所持者数も増加しております。

課題といたしましては、高齢者や支援を要する区民が多く、今後も増加が見込まれることや、単身高齢者の孤立化を防ぐこと、支援を必要とされている方の早期発見・早期支援に努める必要がございます。

次に、１６ページをご覧ください。対応策といたしまして、まず平野区地域保健福祉計画（第３期）の推進、次に総合的な相談支援体制の充実、３つ目が認知症予防の取組、４つ目が障がいのある人への支援を挙げさせていただいております。

成果指標につきましては、生活している中で、地域との「つながり」を感じると回答した人の割合が令和１１年度末までに７５％以上となるようめざしてまいります。

次に、１７ページをご覧ください。健康づくりの推進でございます。現状といたしまして、当区の高齢化率は大阪市よりも高く、急速な高齢化が進んでおり、健康寿命も大阪市や全国平均を大きく下回っております。当区では、生活習慣病やがんなどの早期発見・早期治療に向け、特定健診やがん検診を実施し、また「ひらの百歳☆きらめき講座」などを実施し、ＱＯＬの向上を図っております。

課題といたしましては、医療・介護の担い手不足、要介護認定率の増加、高齢者が高齢者を支える仕組みの構築などが上げられます。

次に、１８ページをご覧ください。対応策といたしまして、まず健康寿命の延伸、次に健康づくりネットワークの構築、最後に特定健診・がん検診の受診率向上を挙げさせていただいております。

成果指標につきましては、主観的健康観が「よい」「まあよい」と回答した人の割合が令和１１年度末までに３５％以上となるようめざしてまいります。

次に、１９ページをご覧ください。ここからは、柱の３つ目「こどもが元気で育つまち」にかかる施策になります。

まず、子育て支援の充実でございます。現状といたしまして、児童虐待相談件数は全国的にも高い数字で推移しており、こどもの貧困率につきましては、全国平均に比して本市は高くなっている状況です。また、子育て世帯の孤立化が生じ、子育てへの不安や悩みを持つ保護者が増加しております。

課題といたしましては、複合的な課題を抱えている子育て世帯への総合的な支援、こどもの貧困の解消、相談支援の充実などが挙げられます。

次に、20ページをご覧ください。

対応策といたしまして、まず切れ目のない子育て支援、次に地域団体等と連携協働した環境づくり、最後に情報発信と相談体制の強化を挙げさせていただいております。

成果指標につきましては、こどもサポートネット事業における好転・解決したケースの割合が令和11年度末までに40%以上をめざしてまいります。

次に、21ページをご覧ください。

教育支援の充実でございます。現状といたしまして、読書ノートの活用、がんばる小中学生区長表彰や学力サポート事業などに取り組んでおりますが、市内における不登校数は小中ともに増加傾向でございます。

課題といたしましては、学習習慣の定着、学習意欲・基礎学力の向上、不登校支援における活動場所や支援者の不足、保護者へのサポートなどが挙げられます。

次に、22ページをご覧ください。対応策としまして、まず学習意欲の向上、次に基礎学力の着実な向上、最後に生きる力を育む取組の推進を上げさせていただいております。

成果指標につきましては、「自分にはよいところがあると思いますか」という質問に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童・生徒の割合が令和11年度末までに83%以上をめざしてまいります。

次に、23ページをご覧ください。こちらでは、「サポートする」「発信する」「向上する」「協働する」という、具体は右に記載させていただいておりますが、これら4つの役割により、ここまでご説明させていただきました3つの柱に基づく施策を推進してまいりたいと考えてございます。

次に、24ページをご覧ください。3段落目辺りからでございますが、現在のビジョンが令和7年度に計画期間を終えることから、行政施策の継続性等の重要性に鑑みまして、これまでの基本的な3つの柱の方針を引き続き踏まえるとともに、現在の平野区の状況や大阪市全体の施策なども勘案しながら、今日的課題も踏まえた内容とさ

せていただいております。

これまでの取組を着実に継承するとともに、この平野のまちがより「笑顔あふれる、つながりと活気のまち」となるよう、区民の皆様、地域や関係機関など多くの皆様とつながりながら、取組を進めてまいりたいと考えております。

25ページ以降につきましては、参考のデータを記載させていただいておりますが、個々の内容につきましては、説明については割愛させていただきます。

次に、平野区将来ビジョンの策定スケジュールについてご説明させていただきます。

特段資料には記載させていただいておりませんが、今回は素案をお示しさせていただいております。次回12月開催予定の区政会議で案として改めてお示しさせていただき、その後、パブリックコメントを実施させていただき、来年4月に策定するというスケジュールを予定しております。

最後になりますが、平野区将来ビジョンの表紙のところでございます。あくまで、本日お示しさせていただいたこのオレンジ色の表紙につきましては仮の表紙でございます。現在ですが、当区と連携をさせていただいております、平野駅前にございます天王寺学館の学生の皆様に今表紙のデザインを依頼させていただいておりますので、この場を借りてご紹介させていただきました。

また、この間、議長をお務めいただいております農野先生におきましては、こちらでも平野区と連携させていただいております常磐会学園様からご推薦いただいておりますこと、この場を借りてご紹介させていただきました。

長々となりまして恐縮でございますが、以上をもちまして、私からの説明を終了させていただきます。

○農野議長

ありがとうございました。

それでは、ここで全体会を一旦中断いたしまして、平野区さんの施策の方向性、3

つの柱に沿って、各グループで意見交換をしていただくことになります。

事務局さんからご案内をよろしくお願い申し上げます。

○司会（高塩政策推進課担当係長）

委員の皆様には、先ほどご説明させていただきました内容についてのご意見、ご質問につきましては、大変恐縮ではございますが、時間の都合もあり、この後のグループ別意見交換会でお伺いさせていただきますので、その際にお願いいたします。

では、これから皆様には席を移動していただき、グループごとに議論をしていただきます。

なお、後半の全体会では、各グループで話し合われた内容を委員の代表の方から報告していただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

なお、意見交換の場所ですが、安全安心まちづくりグループにつきましては2階会議室、地域福祉グループにつきましては、現在お座りいただいております、この場所の前方舞台側の机周辺、こども教育グループにつきましては、ホール、この会場入り口左手付近に設置している机となっております。

各グループに見学席をご用意しておりますので、傍聴していただいております方、市会議員の皆様もよろしければご見学いただければと存じます。

なお、移動する際、お荷物など、貴重品は各自で管理をお願いいたします。

全体会の再開は、約70分後の20時35分からを予定しております。

それでは、移動のほうをよろしくお願いいたします。

（小グループ意見交換会のため一時中断）

（再開）

○農野議長

各グループでの活発なご議論ありがとうございます。

それでは、ただいまより全体会を開催したいと思うんですが、皆様方よろしいでしょうか。

本日、前半に「平野区将来ビジョン2026－2029（素案）」について、区役所さんからご説明をいただき、各グループで活発なご議論をいただきましたが、その内容について、委員の皆様方から出た主なご意見について、各グループの代表の委員様から順にご報告をお願いしたいんですが、よろしいでしょうか。ご準備大丈夫ですか。

それでは、安心安全まちづくりグループ、地域福祉グループ、こども教育グループの順で報告をしていただこうと思うんですが、大丈夫ですか。

安全安心まちづくりグループからのご発表をお願いしたいんですが、よろしいですか。お願いします。

○田部井委員

安全安心まちづくりグループでの討論について、まず最初に出ましたのが、将来ビジョンのところで目標として掲げています柱の1、2、3、ここの2番のところに「みんなで支え合う」とありますけど、みんなで支え合うというのは1、2、3全部共通のことなので、わざわざここに入れる必要もないんじゃないのかなというような話が出ました。

実現を図るに当たっては、各地域間の情報共有ですとか、区と地域の団体との間での情報共有とか、そういうのが不足しているんじゃないか、もっともっと綿密に連絡を取って、情報共有を図る必要があるだろうという意見が出ました。

それから、町会とか地域活動の担い手が不足しているという件は、毎回毎回出ている話ですが、これにはもう少し区が先頭に立って担い手を増やすような対策をしてほしい、何らかの自分にとってよかった経験、ちょっとしたことでもいいから経験があ

れば参加してみようかなという意識も生まれるだろうから、そういうことができるような区としての工夫がほしいですという意見が出ました。

また、未利用地が平野区にはたくさんありますが、ここの利用について、区の情報ですとか、府・市の情報などが見られるような公共施設もつくってほしい、商業施設やマンションばかりじゃなくて、そういう公共施設も考えてほしいということです。

それで、それに伴いまして、小学校が統廃合されていますが、その場合、地域の避難場所として指定されている場所が変更になった場合、そういうのを周知してほしい。それから、避難のときの外国人への対応ですとか、避難経路とかもっと分かりやすく表示してほしいという意見も出ております。

また、これは今度は、これから先の目標を立てて、指標を立ててやっていますが、この指標の目標値がアンケートによって何%達成という形をとっていますが、このアンケート調査のやり方というのが、そこへ参加している方にアンケートを取っていて、そこから出てくる指標では、全体としてどれぐらいに周知されているのか分かりにくいのではないかと、もう少し全体としての認知度が分かるような指標というのにも必要なんではないかという意見が出ております。

それから、実際に防災訓練に当たってしまして、毎年防災訓練をして、徐々にではありますけど、全体に小学生とかを通じて浸透していったという実感がありますと、これは肯定的な意見も出ました。

それから、これはかなり厳しい意見になりますけど、現在の区政会議について、3か月に1回程度、2時間程度やって、意見を言いつ放しで、それだけで何が達成されているのという実感が湧かない、これで意味があるのかと、かなり厳しい意見ですけども、出ております。

その他には、これは私も今日初めて聞いたんで、これは周知しておいたほうがいいと思うのは、カミキリムシが去年非常に大量発生して桜の木が駄目になりましたけど、大阪府でカミキリムシ撲滅キャンペーンというのをやっていて、それを知ってい

る方はほとんどいらないのかなと思うんですが、そういうのは区としてももっともっと広報して、皆さんに周知して知らせるような努力が必要かなという話が出ておりました。

他にもいろいろ出ていましたが、主だったところはそんなところですよ。

それから、私は今日で区政会議を卒業させていただきますけど、最後に当たって、ちょっと時間をいただきましたんで、私の意見ではありますけど、一言、検討していただければと思います。

まず、平野区の将来ビジョンというのであれば、どんなまちをつくるのか、どんなまちにしたいのか、これが一番大事なところだと思います。私は、みんなが住みたくて愛着を感じる、こういうまちをつくってほしいなと。これから先、平野区の区政会議においても、ちょっとの時間でいいですから、区役所から提示されてこんなことをやりたいですという話にプラスして、平野区の将来はどうあってほしいのか、どんなことを区民が望んでいるのか、そういう意見を吸い上げる場というのを設けてほしいなと思います。

私が考える平野区の将来、魅力的なまちにするには何がいいのかというと、まず便利なまちをつくること、地下鉄の千日前線を延伸して、平野から喜連、それで大和川のほうへつながるような、そういうのを働きかけてほしいなと。それから、緑豊かなまちにしてほしい。街路地をもっときれいに、跡地には必ず緑地帯を設けて、緑の多いまちをつくってほしい。それと、土地利用に関しては、非常に文化の香りのするような、大阪教育大学が戻ってきてくれたら一番いいんですけど、その他にも大学の研究施設とかを誘致するような、そういう方向で平野区の要望として出して、各方面に働きかけていただけたらと思います。

要は、区政会議にそういう方向の意見が述べられるような時間を、ちょっとでいいですから設けていただきたいなと思います。

以上です。

○農野議長

ありがとうございます。様々な角度からご意見をいただきまして、特に平野区への熱い期待から、思いを感じる、そういう発表でございました。田部井委員、ありがとうございます。

そうしましたら、続きまして、地域福祉グループからよろしくお願いします。

○黒田委員

地域福祉グループから報告させていただきます。

先ほどの貴重な時間、各委員さん、区役所の方々と話しまして、さっきもありましたけど、アンケート調査の話がやっぱりメインになりました。保健福祉課で行うアンケート75%を目標というので、地域に住んでいる私たちとして、お互いにつながりを本当に持っていききたいというのが切なる願いなんですけども、実際に75%というのは非常に難しいかと思えますけど、ぜひ保健福祉課で行ったアンケートということもありますし、75%ぐらいは行ってほしいな。逆に一般の人たちにも、地域とのつながりというのか、住民同士のつながりを高めるためにはどうしたらいいんやろう、喫茶サービスとか見守りとか、いきいき百歳体操、カラオケとかいろんな話が出ましたけど、やはり皆さん非常に地域で苦勞なされている方々で、何とか平野のまちをいまちにしたい、住みやすい安全なまちにしたいという気持ちがひしひしと感じられる話でした。

ちょっと災害の話、個人情報カードの話とかも非常に大事なことだと思うんですけど、ちょっと深くなっちゃいますんで、ごめんなさい、ほとんどの話が地域のつながりの話で終わってしまったものですから、皆さんの話の報告としてはこれぐらいで終わらせていただいて、私もちょうど3年たちました。任期が終わりということで、一言皆様へのお礼と、私の考え方自体がもうがらっと変わっちゃいまして、今でも防災

リーダーの隊長をやらせてもらっているんですけども、本当に防災、平野区さんよろしくをお願いします。

ごめんなさい、ちょっと時間をいただきます。災害は絶対にやってきます。私らが経験しなくても、こども、孫は100%経験します。ただ、幸いなことに平野区の被害予想は非常に少ない。だから、逆に自分たちでお互いに助け合わざるを得ない。3日たっても、4日たっても、多分、他の都道府県から平野区にはそんなに救助の手が伸びてこないと思います。だから、ほんまに区役所さん、皆さんを統括して、意識を高めていただくようによろしくをお願いします。

ごめんなさい、福祉のところから災害の話になってしまいました。私の話を終わります。ありがとうございました。

○農野議長

ありがとうございました。

そうしましたら最後に、こども教育グループからご発表をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

○和田委員

こども教育グループから発表させていただきます。よろしくお願いいたします。

まず、指標がなぜこうなったのかということについての質問が出まして、目標値がもっとパーセントが高いほうがいいんじゃないかとか、今回どうしてこういう内容に変更があったのかというふうなご質問がありました。

それに対して区役所のほうから、大阪市の目標値よりも平野区が劣っているので、まずは大阪市のほうの目標値パーセントに設定しておりますであるとか、指標につきましては、今の案がベストとは思っていないけれども、今期の3年間で目標到達できたので、違う目標を採用してみようと考えております、また引き続き検討し続けてま

いますのでというお話がありました。

続きましては、要対協とこサポはどう違うのかであるとか、それについて何を担当しているのかであるとか、こサポのほうで数年で担当が代わられることが多いので、できたら長年同じ方で継続して対応していただくことはできないのかというような要望が出ました。

あと、若者地域活動協議会で一番若い世代は何歳ぐらいかなという質問が出まして、30代、40前じゃないかなというお話が出たんですけれども、それに対して、高校生、大学生の子たちの若い声が聞きたいというお話が出たんですが、やはりそこが穴になっているというか、その体制がすごく弱いなというお話が出ました。担い手が少ないというお話がどこのチームでも出ると思うんですけれども、ぽっかりと空いた感じの世代なので、こどもから大人に行くまで、大人からいい年になるまで、どうつないでいくかみたいなお話も出ました。

外国人の方が多く住んでおられる状況がある、年々増えておられるという状況もあって、その方たちとのコミュニケーションであるとか、それにまつわる人間関係のつくり方、難しさというお話が出ております。

どこもお話しされていたと思うんですけれども、やっぱり広報の弱さがあるのではないかという話で、20ページ右下の平野子育てフェスタのチラシの話なども伺ったんですけれども、未就学児に対しては7,000部配っていて、ある程度の効果が出ているという話はあったんですけれども、それについて、全く子育て世代ではなかったり、子育てもこどもの年齢が違くと情報が全く入ってこなかったりするもので、やっぱり広報自体が弱いのではないかという話で、小学校、中学校、高校まで行くと、どこにまず言っていったらいいのか、学校に言っていったらいいのか、区役所に言っていったらいいのかなど、やはり情報発信が弱いんじゃないかという話が出ております。

こども市会の話で、中学生の分に行かれた方のご意見としまして、こどもが市長に質問したら、ほぼ全て「そこはやっています」「それはやっています」「それはこう

いうふうにやっています」というふうにお答えが出てきたそうなんですけれども、それについて、こどもたちが知らない、大人も知らない、私も区でお話を聞いたりすると、「それはこれでやっています」「あれでやっています」というのはよく教えていただくんですけれども、そういう意味でも、市長もやっていることに対しての情報発信が弱いんじゃないかという話にもなったということでした。

こどもたちが情報を見るとすれば、面白くないから見ないとか、動画がショートで届くとかがあれば見るかもしれないというので、大人が思っている方法では何段も遅れているなという感じがあるというお話も出ております。それに関しまして、ネットリテラシーの教育はどんなことをやっているのかとか、しっかりやっていかなあかなというお話も出ております。

最終的に、やっぱり外国人の方が多い、そのコミュニケーションの問題、それから情報発信が弱いという話等々、あとはD Xの話なんかも出たんですけれども、そうしますと、23ページの「施策を推進していくために」というところに全部載っておりますというお話を伺いました。ですから、全般情報を発信してほしい、外国人の方とどうコミュニケーションをとっていったらいいか、技術的な問題というのは大きい問題なんだなという感じで印象を持ちました。

以上です。

○農野議長

ありがとうございます。

それぞれのグループで活発なご意見が交わされたことが伺えました。ありがとうございます。

各グループでのご意見は、事務局さんが各分担して把握していただいていると思いますので、次回の案にぜひ反映していただきますようお願い申し上げます。

時間がもう迫ってまいりまして、最後に本日ご出席の市会議員の方からもコメント

をいただこうと思ったんですが、時間がいっぱいになってしまいましたので、申し訳ございません。

また、傍聴の方々も最後までお付き合いくださいまして、どうもありがとうございます。

時間になりましたので、それでは事務局さんにお返ししようと思いますので、よろしく願いいたします。

○司会（高塩政策推進課担当係長）

農野議長、誠にありがとうございました。

それでは、本日お配りしました【資料４】アンケートにつきましては、ご記入いただき、名札とともに、そのまま机に置いてお帰りいただきますようお願いいたします。

ただし、自由意見欄の記載などで、後日の提出をご希望される方は、別途用紙と返信用封筒をお渡しさせていただきますので、事務局職員にお声がけください。

区役所からの説明は以上でございます。

それでは、閉会に当たりまして、区長よりご挨拶申し上げます。

○東中区長

改めましてご挨拶申し上げます。皆様、本当にありがとうございました。

先ほど各ワーキングをお聞きしておりまして、皆様、率直に意見交換をなさっていただいております。大変勉強させていただいております。ありがとうございます。

農野議長、松野副議長、委員皆様方、重ねて感謝申し上げます。

先ほどお話にございましたけれども、任期を務め上げていただいた委員の皆様、本当にありがとうございます。また続けてなさっていただく方にも、重ねて感謝申し上げます。

共通しておられましたのは、平野をよいまちに、この思いで皆様がつながり合って、

いろいろなご意見をいただいた、そのように感謝申し上げます。私どももしっかりと受け止めさせていただいて、よりよいビジョン、ビジョンはビジョンのためではなくて、しっかりと皆様と共によいまちにするためのものであるというところで、しっかりともう一度練り直しをするべきところはさせていただきたい、そのように思います。

また、オブザーバーでご出席の市会議員の先生方も本当にありがとうございました。議会活動のご参考としていただけますと大変幸いです。重ねて感謝申し上げます。皆様、本当に遅くまでありがとうございました。

○司会（高塩政策推進課担当係長）

それでは、これで平野区政会議 8 月全体会を終了いたします。

ありがとうございました。

—了—